

平成 29 年度シラバス（課題研究）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科（科目）	水産（課題研究）	単位数	3 単位	学年（コース）	3 年食品科学コース
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

1 学習目標

水産や海洋に関する諸課題について科学的に探究するとともに、水産業及び海洋関連産業の充実を図る能力と態度を育てる。

2 指導の重点

糸魚川市水産資源活用産官学連携事業として展開している水産加工販売事業所「シーフードカンパニー能水商店」の企業活動に主体的に取り組むなかで、地域水産資源の活用を図るための商品開発・製造・品質管理・マーケティング・販売等に関わる実際的な知識と技術の習得をする。

3 学習計画

月	単元名	教材	指導内容	時間	評価方法
4 5 6 7	オリエンテーション 研究テーマの設定・研究方法の立案、実践 研究結果の検討 中間発表への準備	○食品工場の品質管理 ○食品のマーケティング ○新商品開発	○課題を解決するための仮説・方法・評価の方法について理解する。 <主な研究テーマ> ○能水商店の標準衛生作業手順書の作成 ○売れるECサイトの管理・運営、最後の一滴メンバーズを活用した売上増加策設定、検索上位最適化等 ○地元水産資源を活用した新商品の開発 それぞれのテーマで得られたデータから考えられる事項をまとめ、仮説の検証ができたかを判断する。1学期間の研究で明らかになったことを文書及び発表ソフトまとめ、PDCAサイクルにしたがった課題解決運営方法を身に付ける。	39	課題への取組 研究ノート レポート ペーパーテスト
9 10 11 12	中間発表 研究の発展	○食品工場の品質管理 ○食品のマーケティング ○新商品開発	○研究の進捗状況をクラス全員に発表ソフトを用いて分かりやすく伝えるなかで、プレゼンテーション力を向上する。 ○中間発表における討論に基づいて研究を進展させ、成果にこだわる姿勢を身に付ける。PDCAサイクルにしたがった課題解決運営方法を身に付ける。	39	課題への取組 研究ノート レポート ペーパーテスト 発表
1 2	研究発表 論文作成	○研究の整理と発表 ○科学論文の作成	○研究成果をクラス及び学校職員に発表ソフトを用いて分かりやすく伝えるなかで、プレゼンテーション力を向上する。 ○研究成果を科学論文形式にまとめ、記録として後に役立てられる文書作成方法を身に付ける。	18	課題への取組 研究ノート 発表 論文

計 96 単位（55 分授業）

4 課題・提出物等

- 研究の進捗や実験データ等をまとめた研究ノート
- 随時要求するレポート
- 研究発表資料
- 研究論文

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
水産食品の開発製造や安全管理、流通等に関する課題に対し、意欲的に解決しようとしている。	課題を科学的に解決する方法を考えられる。得られたデータから仮説の正否について判断することができる。	研究実践を通じて理解したことを適切にまとめ分かりやすく発表することができる。実験や販売業務を適切に行うことができる。	研究実践に必要な食品の物理化学的性質や水産食品の流通機構、販売促進法等を理解している。
以上の観点を踏まえ ○課題への取組姿勢 ○研究ノート ○各種レポート ○ペーパーテスト ○研究発表 ○研究論文 ○出席状況 などから、総合的に判断します。			

6 担当者から一言

糸魚川市の振興の一翼を担う産業は、農林水産資源をベースとした6次産業にあると言われています。シーフードカンパニー能水商店は、地域資源に根ざした6次産業に発展すべき事業所です。食品科学コース3年生が課題研究として事業所の各種課題に取り組み成果をあげることは、そのまま地域の発展につながり、ひいては地域に必要とされる専門高校となるための重要な取り組みとも言えます。学校が企業と継続的に連携して地域振興を図る「糸魚川版デュアルシステム」のなかで、社会で通用する基礎的・汎用的能力を大いに伸ばしてください。

(担当：長崎睦夫、松本将史、矢口沙保里、高鳥淳一)